

佳作
(中学部門)

昭和薬科大学附属中学校(沖縄県) 1年
屋嘉比やかひ 妃賀ひめか

何度も君を傷つける人たちのことは、紙やすりだと思えばいい。

君は擦られて痛いだろうけど、最後には磨き抜かれ、

そのころ、彼らは役立たずになっている。

クリス・コルフアー

この言葉は、私の姉に教えてもらった言葉です。その当時の私はいじめに悩んでいて、周りに言われる言葉の一つ一つが鋭利な刃物となって私の心にグサグサ刺さっていました。そのため、生きる事さえも辛くて、毎日毎日苦しんでいました。しかしその時、この言葉に出会いました。今まで私は、悪口を言う人は悪い人なんだと思っていました。実際その事に変わりはありません。でも、傷付けられた事のある私にしか分からない気持ちや出来る事を考えてみると、数々の嫌だった言葉は、知らず知らずの内に紙やすりとなって私を磨いてくれているんだ、と発想を変え、事が出来ました。なので、これからは、周りの人の事をより考えて生きていきたいと思えます。